

別記第1号の2様式（介護職員初任者研修課程関係）

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程 通信）

事業者名：株式会社ミライプロジェクト

※実施方法については、「実施要綱」別紙3「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）		実施計画				
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数			実施内容	
1	職務の理解6 時間	1	職務の理解6 時間	1	職務の理解	
(1)	多様なサービスの理解		通学	通信	合計	講義及び演習：講座の開始にあたり、多岐にわたる介護系サービスについての印象をグループ討議で語り合う
		(1)	同左	3		
(2)	介護職の仕事内容や働く現場の理解		通学	通信	合計	講義及び演習：介護職が活躍する現場の様子を映像等を通して理解し、グループで感想を述べる
		(2)	同左	3		
2	介護における尊厳の保持・自立支援9 時間	2	介護における尊厳の保持・自立支援9 時間	2	介護における尊厳の保持・自立支援	
(1)	人権と尊厳を支える介護		通学	通信	合計	講義及び通信演習
		(1)	同左	1.5	3.5	5
(2)	自立に向けた介護		通学	通信	合計	講義、演習及び通信講習：テキスト等の事例を基に、自立支援の本質を理解する為グループ討議を行う
		(2)	同左	1.5	2.5	4
3	介護の基本6 時間	3	介護の基本6 時間	3	介護の基本	
(1)	介護職の役割、専門性と多職種との連携		通学	通信	合計	講義及び通信講習
		(1)	同左	1.5	0.5	2
(2)	介護職の職業倫理		通学	通信	合計	通信講習のみ
		(2)	同左	0	1	1
(3)	介護における安全の確保とリスクマネジメント		通学	通信	合計	講義、演習及び通信講習：現場で想定されるリスクを理解し、その対処法等をグループ討議を行う
		(3)	同左	1.5	0.5	2
(4)	介護職の安全		通学	通信	合計	通信講習のみ
		(4)	同左	0	1	1

様式1

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携		9 時間
(1) 介護保険制度		
(2) 障害福祉制度及びその他制度		
(3) 医療との連携とリハビリテーション		
5 介護におけるコミュニケーション技術		6 時間
(1) 介護におけるコミュニケーション		
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション		
6 老化の理解		6 時間
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常		
(2) 高齢者と健康		
7 認知症の理解		6 時間
(1) 認知症を取り巻く状況		
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活		
(4) 家族への支援		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携		9 時間		
		通学	通信	合計
(1) 同左		3	0	3
(2) 同左		0	3	3
(3) 同左		0	3	3
5 介護におけるコミュニケーション技術		6 時間		
		通学	通信	合計
(1) 同左		3	0	3
(2) 同左		3	0	3
6 老化の理解		6 時間		
		通学	通信	合計
(1) 同左		1.5	1.5	3
(2) 同左		1.5	1.5	3
7 認知症の理解		6 時間		
		通学	通信	合計
(1) 同左		1.5	0	1.5
(2) 同左		1.5	0	1.5
(3) 同左		1.5	0	1.5
(4) 同左		0	1.5	1.5

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	
(1)	講義、演習:制度の全体像を把握し、実際に利用される資料を基にグループ討議を行う
(2)	通信講習のみ
(3)	通信講習のみ
5 介護におけるコミュニケーション技術	
(1)	講義、演習:利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション方法をグループ毎で行う
(2)	講義、演習:利用者の状況報告や記録方法、スタッフ同士のコミュニケーションをグループ毎で行うロールプレイングを通じて討議する
6 老化の理解	
(1)	講義、演習及び通信講習:老化に伴う身体的・精神的変化について具体的事例を基にグループ討議を行う
(2)	講義、演習及び通信講習:高齢者の疾患と日常生活上の留意点を具体的事例基にグループ討議を行う
7 認知症の理解	
(1)	講義、演習:認知症の具体的な事例について多角的に考察し、対応方法についてもグループでロールプレイングを実施し討議を行う
(2)	講義、演習:認知症の具体的な事例について多角的に考察し、対応方法についてもグループでロールプレイングを実施し討議を行う
(3)	講義、演習:認知症の具体的な事例について多角的に考察し、対応方法についてもグループでロールプレイングを実施し討議を行う
(4)	通信講習のみ

8 障害の理解 3 時間	
(1) 障害の基礎的理解	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	
9 こころとからだのしくみと生活支援技術 75 時間	
ア 基本知識の学習 10～13時間	
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習 50～55時間	
(4) 生活と家事	
(5) 快適な居住環境整備と介護	
(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(11) 睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(12) 死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	
(実習)* (50～55時間中12時間以内)	
介護実習 ○時間	
ホームヘルプサービス同行訪問 ○時間	
在宅サービス提供現場見学 ○時間	
ウ 生活支援技術演習 10～12時間	
(13) 介護過程の基礎的理解	
(14) 総合生活支援技術演習	
10 振り返り 4 時間	
(1) 振り返り	
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	

8 障害の理解 3 時間			
	通学	通信	合計
(1) 同左	0	1	1
(2) 同左	1	0	1
(3) 同左	0.5	0.5	1
9 こころとからだのしくみと生活支援技術 75 時間			
ア 基本知識の学習 10 時間			
	通学	通信	合計
(1) 同左	3	0	3
(2) 同左	3	1	4
(3) 同左	3	0	3
イ 生活支援技術の講義・演習 54 時間			
	通学	通信	合計
(4) 同左	1.5	2.5	4
(5) 同左	1.5	2.5	4
(6) 同左	12	0	12
(7) 同左	9	0	9
(8) 同左	3	1	4
(9) 同左	6	0	6
(10) 同左	3	2	5
(11) 同左	4	1	5
(12) 同左	3	2	5
(実習)* 0 時間			
ウ 生活支援技術演習 11 時間			
	通学	通信	合計
(13) 同左	4	0	4
(14) 同左	7	0	7
10 振り返り 4 時間			
	通学	通信	合計
(1) 同左	2		2
(2) 同左	2		2

8 障害の理解	
(1) 通信講習のみ	
(2) 講義のみ	
(3) 講義、演習及び通信講習:障害者の家族関わり合い方について、心理的・肉体的な介護負担の側面から負担軽減のグループ討議を行う	
9 こころとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習	
(1) 講義のみ	
(2) 講義、演習:介護にまつわる心理的な側面を、当事者意識を持ちながらグループ討議を行う	
(3) 講義、演習:介護にまつわる心理的な側面を、当事者意識を持ちながらグループ討議を行う	
イ 生活支援技術の講義・演習	
(4) 講義、演習及び通信講習:家事援助における共有すべき知識についてグループ討議を行う	
(5) 講義及び通信演習	
(6) 講義、演習:衣服の着脱等、整容にまつわる実技演習	
(7) 講義、演習:体位変換・移乗介助・移動介助(車いす・杖等)、移動移乗に関わる実技演習	
(8) 講義、演習及び通信演習:献立の立て方・食事介助・口腔ケア等食事に関連した実技演習	
(9) 講義、演習:入浴介助、部分浴(手浴・足浴)・洗髪・清拭等入浴及び清潔保持に関連した実技演習	
(10) 講義、演習及び通信講習:排泄介助・一部介助、排泄用具の活用方法に関わる実技演習	
(11) 講義、演習及び通信講習:ベッドメイキング(シーツ交換)の実技演習や睡眠に関する仕組みについてをグループ討議を行う	
(12) 講義、演習及び通信講習:看取りについての考え方を具体的な事例を基に多角的な角度から考察し、グループ討議を行う	
(実習)*	
ウ 生活支援技術演習	
(13) 講義・実技演習:具体的な事例を基に、実際の書類を使用した実践的な作成演習を各個人で実施、その後のグループ討議にて仕組みの理解促進を図る	
(14) 講義及び演習:具体的事例を提示し、援助職の力は発揮できない要因や適切な支援技術をグループ討議し、その支援技術について演習を行う	
10 振り返り	
(1) 講義及び演習:講義全体を通して学んだことを振り返り、引き続き取り組むべき介護についての課題や個人としての関わり方の個別発表を行う	
(2) 講義及び演習:「介護観」という言葉をテーマごとにグループ討議し発表	

追加カリキュラム		時間	
計		(130 時間)	
計		(130 時間)	

※「9 こころとからだのしくみと生活支援技術」内で実習を行う場合、1 2 時間以内とする。